

1. 事業概要

1) 事業の目的

着地型旅行商品（ニューツーリズム）の品質向上については、平成 23 年度及び 24 年度「顧客満足度型旅行商品推進事業」においてまとめた品質向上策の活用により、旅行商品の品質を高め、顧客満足度を上げることを目的としてきた。

一方、ニューツーリズム実施事業者は小規模事業者が多く、プロモーション不足等によりその認知度が低いことから、品質の高い旅行商品を造成しても十分な集客が出来ていない状況もみられるところである。このような背景を踏まえ、本事業は、品質の高いニューツーリズムの旅行商品を顧客に届けるため、ニューツーリズム実施事業者・地域が行うべき効果的且つ効率的なプロモーション手法について検証を行うものである。

2) 事業の内容

(1) 第三者有識者委員会の設置・運営

地域・事業者が行うべきニューツーリズムの効果的且つ効率的なプロモーション手法を検証することを目的とした、第三者有識者委員会を設置・運営した。

(2) ニューツーリズムのプロモーションに係る実態調査

① 各地域・事業者に対するアンケート調査

ニューツーリズムを行っている地域、事業者等に対し、分野別に PR 手法に関するアンケートを行った。

② 先進地域へのヒアリング調査

ニューツーリズムの実施地域として特に評価・評判が高く、認知度が高い地域を選定し、PR 手法に関するヒアリング及びその他の調査分析を行った。

③ 個別の観光プロモーションに関する調査

①のアンケート調査の協力者の中から、②の先進地域へのヒアリングで抽出されたプロモーション方法別に具体的な情報収集を行った。

(3) ニューツーリズムに取り組む地域でのプロモーション手法の実証

① ワークショップ

24 年度「顧客満足度型旅行商品推進事業」において対象とした 16 地域について、ニューツーリズムの普及に関し、(2) の調査結果を踏まえ各地域の要望も考慮しつつ、ワークショップを行った。

② 実証実験

①のワークショップ参加地域の中から、特に先進的な地域を 3 地域選定し、より深掘した実証を行った。

(4) 本事業の成果周知

① 「ニューツーリズム普及促進モデル事業」取り組み報告会

(3) の②で実施された実証実験の取り組み事例報告会を山形県上山市で開催し、報告会の模様は、ストーリーミング配信で YouTube チャンネルに投稿した。

② 手引きの作成

(2) の実態調査、(3) ①のワークショップ、有識者委員による助言より得られた知見をもとに、「滞在プログラムにおけるプロモーションの手引き」を作成し、配布した。なお、本手引きは、昨年度作成の「地域発 滞在プログラムの手引き」とのセット利用を推奨している。

2. 第三者有識者委員会の設置・運営

1) 設置の目的

学識経験者、旅行業界関係者、滞在プログラムの実践者等のニューツーリズムに関する豊富な知見、経験等を有する有識者による意見交換を行うことで、効果的且効率的なプロモーション手法についての施策策定を目的に、第三者有識者委員会を設置した。

2) 委員の構成

有識者委員会の委員構成は、以下の通りである。

(敬称略)

氏名	所属・役職
菊池 辰弥	一般社団法人全国旅行業協会 経営調査部 部長
興津 泰則	一般社団法人日本旅行業協会 国内・訪日旅行推進部長
沢登 次彦	株式会社リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター センター長
清水 慎一 (委員長)	立教大学観光学部兼任講師
古田 秘馬	株式会社 umari 代表取締役
松本 慶大	株式会社コレリアンドアトラクト 代表取締役